



〇〇中学校 第1学年

社 会 科 通 信

なんでやねん

発行責任者 倉橋 忠



No.10

初めての中間テスト

1 「歴史」の中間テストの試験範囲を知らせます

中学生になって初めての中間テストが間近になってきました。試験範囲を示しますので、対応できるようにしっかり復習しておいてください。

中間テストのようなテストを「定期テスト」と言っています。普段の学習内容がどの程度まで理解できているのか、そして、進んで自分で学習を深めているのかなどを確かめるために実施するテストです。

ですから、授業で学んだことがテスト問題の中心になりますが、私(倉橋)の歴史の「定期テスト」では応用問題(考え方を発展させた課題)も出題します。

今回は、教科書のページはあまり進んでいませんが、授業で学習した内容は密度の高いものでした。教科書と「なんでやねん」と自分で作成したノートを十分に見直しておいてください。

教科書の試験範囲：「時代や年代を読み取ろう」(p.8-p.9)。「人類の出現と進化」
「古代文明のおこりと発展」(p.22-p.25)。

副教材「チャート式」の試験範囲：教科書と同じ学習内容が試験範囲になります。

「なんでやねん」の試験範囲：No.3「「遺物」から日本の歴史を考えてみよう」、No.4「石器は世界共通の文化だった」、No.8「「ハンムラビ法典」から古代メソポタミアの社会を読み解こう」、No.11「グループ活動で「ハンムラビ法典」を読み取ろう」を試験範囲に含めます。

2 「作文」を書く問題を出します

授業中に宣言したように、「定期テスト」には「作文」を書く問題を出題します。

今回の「課題」は、

「原始社会(石器時代)の人々の暮らしを学んで、現代の私たちの暮らしをあなたはどのように考えますか。具体的な事実にもとづいて、自分の考えたことを説明しなさい。」(文字数の制限はありません)

です。予め、知らせておきますので、考えておいてください。

3 どんな問題が出るの？

歴史の「定期テスト」では、大きく分けると3種類の問題のタイプを出題します。それは、①理解して覚えていると解ける問題(知識・理解)、②資料の意味を読み取ったり、調べたことを資料にまとめることができるかどうかを試す問題(資料活用技能)、③知っていることを使って考えたり、自分の考えたことを表現する問題(社会的思考力・判断力・表現力)です。

ですから、「丸暗記」して解ける問題はほとんどない、と思ってください。ていねいに教科書の文章を読んだり、教科書に紹介されている図版などの意味を考えながら学習することが大切になります。

また、「なんでやねん」で紹介している話題が、君たちの理解を助けたり考え方を深めると、私は期待しています。

「テスト対策」で特に大切なのは、自分で学習した内容を、自分で整理する習慣を身につけることです。君たちは、きっと学習内容を自分で整理していくうちに、学習内容を深く理解できることを体験できるでしょう。「急がば回れ」ということわざがあります。まさにその通りなのです。少しずつの積み重ねが「テスト対策」に役立ちます。あせらずに「ノート整理」をしてください。

次に、社会的思考力・判断力・表現力の問題の重点を伝えておきます。

[社会的思考力・判断力・表現力を試す問題]

- ① 四大文明の共通点は何か。
- ② 文字の発明が、人類の文化の進歩に果たした役割とは、どんなことか。

ヒント：人類の歴史上で、文字を持たなかった時代の長さど、文字を使
いだしてからの長さや、文化の発展スピードのちがいを比較しな
がら考えること。

- ③ 身分差がなかった時代と、身分差が存在する社会のちがいは、どのような条件のちがいによるものか。

ヒント：なぜ、原始社会では身分差がなかったと言えるのか。

4 テスト当日に「ノートの提出」をしてください。

歴史のテストがある日に、歴史のノートを提出してください。その日以外の提出は認めません。ただし、テスト当日に欠席した人については、登校できるようになった日に提出してもらいます。

なお、提出方法は後日に知らせます。